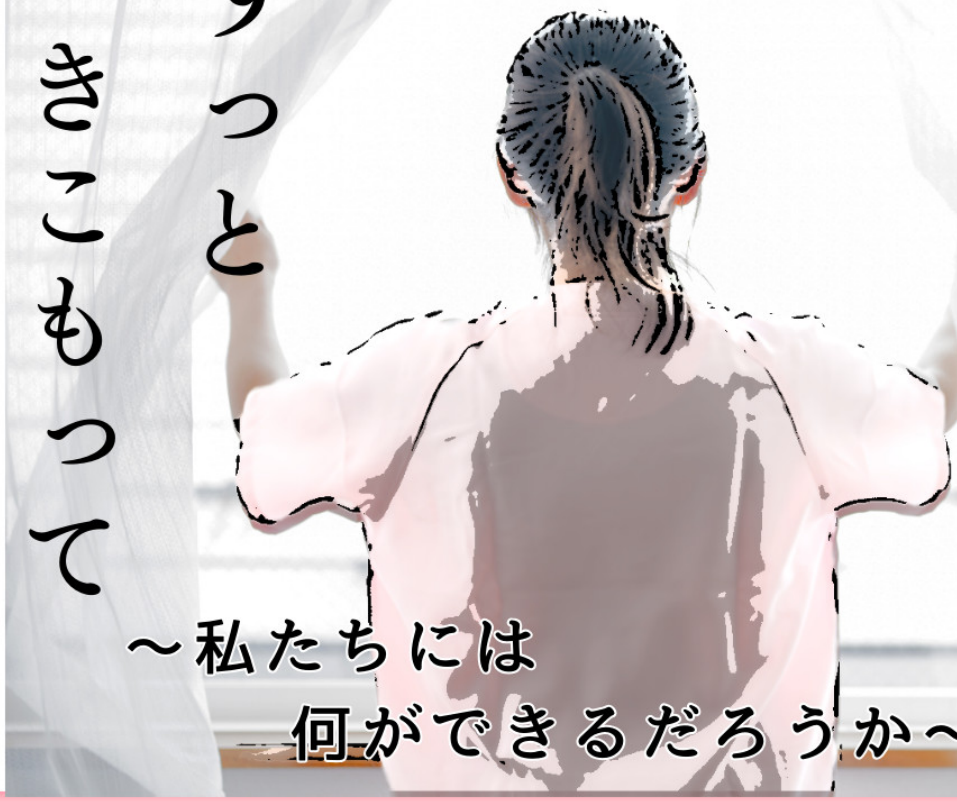
第１６回 倉敷権利擁護支援フォーラム

ずっとひきこもって いたけれど…



～私たちには何ができるだろうか～

「自分の人生を自らの意思で選び歩める社会の実現」に
私たちだって、寄り添えることはたくさんある
そんな「これから」をともに考えるフォーラムを開催します

2024/9/14（土）13:30～16:00（13:00開場）

くらしき健康福祉プラザ ５階プラザホール
（倉敷市笹沖１８０番地）

・定員２５０名（定員になり次第締切）
・参加費無料
・どなたでも参加可能

活動報告・パネルディスカッション
いろいろな寄り添いのカタチ⇒未来×人×社会

ノートルダム清心女子大学
准教授　中井　俊雄

NPO法人山村
エンタープライズ
代表理事　能登　大次

一般社団法人
hito.toco　ヒトトコ
代表　宮武　将大

認定NPO法人
ペアレント・サポートすてっぷ
理事長　安藤　希代子

参加申込・お問い合せ先／社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会
地域福祉課（倉敷市笹沖180番地）
TEL:086-434-3301　FAX:086-434-3357
E-mail:tiikifukushi@kurashikisyakyo.or.jp

倉敷市
人権啓発活動事業費
補助対象事業

主催：社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会　共催：倉敷高齢者・障がい者権利擁護ネットワーク懇談会
後援：倉敷市・岡山県社会福祉協議会

FAX：086-434-3357

参加者氏名	連絡先	役職（該当する箇所に○を記入
	（　　） －	・民生委員・愛育委員・栄養委員・地区社協・NPO・ボランティア ・コミュニティ協議会・サロン代表者・高齢者支援センター ・一般参加・その他（　　）
	（　　） －	・民生委員・愛育委員・栄養委員・地区社協・NPO・ボランティア ・コミュニティ協議会・サロン代表者・高齢者支援センター ・一般参加・その他（　　）
	（　　） －	・民生委員・愛育委員・栄養委員・地区社協・NPO・ボランティア ・コミュニティ協議会・サロン代表者・高齢者支援センター ・一般参加・その他（　　）

【会場のご案内】
くらしき健康福祉プラザ5階　プラザホール
倉敷市笹沖180番地

【当日のタイムスケジュール】

13：00　受付開始
13：30　開会あいさつ
13：35　趣旨説明
13：50　活動報告
14：50　休憩
15：00　パネルディスカッション
15：45　質疑応答
16：00　閉会

倉敷市社協
ホームページ

コーディネーター・活動報告者紹介

ノートルダム清心女子大学　人間生活学部　人間生活学科　准教授　中井　俊雄

総社市社会福祉協議会に27年間在職。在職中は権利擁護センター長・生活困窮者支援センター長・ひきこもり支援センター長等を担当。
豊富な経験から、ひきこもり状態にある人の支援に関する著書や論文を多数執筆。
厚生労働省「ひきこもりに関する地域社会に向けた広報事業」企画検討委員会委員をはじめ、多くの自治体のひきこもり支援に関する委員も歴任。

NPO法人山村エンタープライズ　代表理事　能登　大次

1974年仙台生まれ。東北大学国際文化研究科修了。東京で雑貨類のデザイナー「能登夫妻」を営むも3.11をきっかけに岡山に移住。2012年美作市地域おこし協力隊に就任し、仲間たちとともに「山村シェアハウス」をオープン。2015年NPO法人山村エンタープライズを設立し、翌年、若者支援に特化した「人おこしシェアハウス」を開設。現在はNPO法人の代表理事、そして人おこ事業事務局長として、さまざまな事情を抱えて全国から集まった若者たちと切磋琢磨の日々をエンジョイしている。

一般社団法人hito.toco　ヒトトコ　代表　宮武　将大

香川県生まれ。小学6年生の時に不登校になり、そのまま20歳まで引きこもり生活を送る。家族の関わりと働くことがきっかけとなり社会復帰。人との出会いや、つながりを通して心のリハビリが行われていく。働く傍ら自助グループや支援活動を経て、2016年に法人設立。人と社会を心でつなぐ活動を目指し、引きこもりや不登校支援、居場所活動、就労支援等に取り組む。

認定NPO法人ペアレント・サポートすてっぷ　理事長　安藤　希代子

名古屋市出身、一男一女の母。現在28歳の長女は自閉症と知的障がいがある。2012年、同じ立場の仲間とともに障がい児保護者支援団体「ペアレント・サポートすてっぷ」を設立。2014年にNPO法人化し、2019年に倉敷市初の認定NPO法人となる。倉敷市新田で週に2回開く「保護者の居場所うさぎカフェ」を運営しながら子育てハンドブックの発行、YouTube動画制作、講演活動や研修講座開催、ハンドメイド事業、シングル家庭支援、病弱児や難病児の親支援、父親支援等、障がい児の保護者の支援に特化した活動を様々に展開している。従来の活動に加え2021年秋からは地域の福祉人の連合体「くらしき支援LABO」リーダーの1人として、福祉を前に進めるための様々なソーシャルアクションを仕掛けている。